

平成 28 年 5 月 6 日

各 位

会 社 名 長瀬産業株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 朝倉 研二
 上 場 取 引 所 (東証第 1 部 コード 8012)
 問 合 せ 先 経理部本部長 高見 輝
 (TEL 03-3665-3103)

連結納税制度の適用に関するお知らせ

当社および一部の連結子会社は、平成 29 年 3 月期より連結納税制度を適用することとなりました。この結果、平成 28 年 3 月期連結業績に影響がございますので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期連結業績への影響

当社および一部の連結子会社において、平成 28 年 3 月期中に連結納税制度の承認申請を行い、この度、平成 29 年 3 月期からの適用が承認されました。これに伴い、同制度の適用を前提とした会計処理を行った結果、税金費用が 52 億円減少いたしました。

2. (ご参考) 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績との比較

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	823,000	19,500	20,600	12,100	95.25
今回実績 (B)	742,194	18,024	18,390	12,316	96.96
増減額 (B-A)	△80,806	△1,476	△2,210	216	
増減率 (%)	△9.8	△7.6	△10.7	1.8	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	759,713	18,153	20,366	11,318	89.10

売上高および営業利益につきましては、国内販売の不振、スマートフォン市場の低迷、国内新規ビジネス立ち上げに伴う費用負担等の影響により、前回予想を下回る結果となりました。それに加え、為替差損および持分法投資損失の計上等により、経常利益も前回予想を下回りました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、のれんおよび事業用資産等に係る減損損失 27 億円の計上があったものの、上記の税金費用の減少により、結果として、前回予想数値とほぼ同額となりました。

以 上